

---

# すきなとこ

結椅

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
すきなところ

【Nコード】  
N3987D

【作者名】  
結椅

【あらすじ】  
高校2年生の京介と幼馴染の高校2年生の明。京介は、明のことが好き。どこが好きかって……？それは見てのお楽しみ。

## （前書き）

初めてなので、駄作だと思いますが、最後まで読んでくれたら嬉しいです。お願いします。

君の好きなところ。いっぱい言えるから。

ダダダダッッ

「明<sup>あき</sup>

！！！！！起きろ

っ！！！！」

ガラ！！

「ん  
！！！！？いやあ~~~~！！！！京介<sup>けいすけ</sup>のばかあ~~~~っ！！」

「あほっ！！遅刻すっぞっ！！？新学期早々、遅刻する気かつっ！！」

・・・え？ち・・・・・・・・く？？

ただいまの時刻、7：35。

「キヤ

ツツ！！！！！！

遅刻

！？つちよつと、着替えるから出てってよっ！！」

ドンッ

「おわぁっ！！」

ガッチャッ

「・・・・・・・・ったく、俺が起こしきてやったのに。

なんだ、この扱い。」

…

「けーすけ、ごめんねっ！ごめんねっ？」

……朝、俺が不機嫌なのに気づき、謝ってくる明。

もちろん、そんなに怒ってない。

俺と明の関係だって、恋人同士じゃない。

そこら辺にいる幼馴染。

でも、俺は明が好きだから、毎朝起こしに行ってるし

一緒に登下校してる。

「けーすけ…？まだ、怒ってる…？」

少し涙目で見えてくる鈍感女。

「…ん、もう大丈夫。」

鈍感でも、朝起きれなくても。

「ほんとっ？？ありがとう、京介っ！」

この笑ってる顔が、俺だけに向けられなくても。

それでも全部、君が好きだから。

君の好きなところだから。



## （後書き）

すごく微妙な終わり方ですみませんっ。

これが、結椅のデビュー作です。

最後まで読んで頂き、

ありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3987d/>

---

すきなとこ

2010年12月30日18時19分発行